

■第1回武蔵野市緑の基本計画検討委員会 議事要旨

●日時：平成29年9月12日(火) 19:00～21:00

●場所：武蔵野市役所 812会議室

●武蔵野市緑の基本計画検討委員会 出席者10名、欠席者0名

阿部委員長、秋田副委員長、池田委員、小田委員、喜内委員、小松委員、鈴木委員、曾田委員、田中委員、平田委員

●事務局

- ・環境部 緑のまち推進課長 他9名
- ・株式会社総合設計研究所：3名

●次第と主な議論内容

1 開会挨拶・委員紹介

2 検討委員会と進め方について

- ・委員長に阿部委員が選出され、副委員長に秋田委員が指名された。
- ・武蔵野市緑の基本計画検討委員会傍聴要領(案)が承認された。

3 検討委員会の設置等について

- ・事務局による説明について確認のやり取りを行い、概ね承認された。
- ・庁内検討委員会の意見を検討委員会でも共有したいとの意見を踏まえ、庁内検討委員会の議事要旨を検討委員会に示すこととした。
- ・庁内検討委員会の構成委員に、防災関係の課、市民活動関係の課を入れてはどうかと提案があり、事務局で改めて検討することとした。
- ・ワークショップを行う際には、委員会で情報を共有し、委員として関わっていただけるようにすることとした。

4 議事

(1) これまでの緑と水の取り組み、武蔵野市の概況の説明

(2) 第5期緑化・環境市民委員会の提言の概要

(3) 現行計画の達成状況とキーワードの整理

(4) 緑の基本計画「2008」策定以降の緑に関する動向

(5) 検討する主なポイントの案(事務局案)について

- ・議事(1)～(5)について、事務局が説明し、意見交換を行った。

- ・各委員は、現行計画の評価内容を確認し、10月11日までに事務局へ意見等を伝え、事務局は、その意見を今後の資料に反映する。
- ・委員会で議論する主要な論点を導くまでの経緯や課題について分かりやすくなるよう整理する必要があるとの意見を踏まえ、事務局から改めて報告することとした。

5 その他

事務局より10月に実施予定の視察の説明を行った。

6 閉会の挨拶

●主な意見のまとめ

【各委員の緑に対する捉え方について】

- ・公園や街路樹だけでなく、民地に大木が残っているのはすばらしい。今後どのように維持管理をして継承していくための支援など議論したい。
- ・緑が多いことは良いが、落ち葉など近隣との関係性を踏まえ、検討していくことが必要である。
- ・大木などの維持管理の負担をサポートする仕組みを今後検討していく必要がある。
- ・緑の多様性と捉え、単に農地、公園だけではなく、暮らしの舞台として緑を活用していくことが大事である。緑の大切さを生活の中で実感してもらえるような計画になると良い。
- ・武蔵野市の緑は、「武蔵野市のイッピン」という想いで計画策定に携わりたい。
- ・市の地域支え合いポイント制度と緑の活動を複合させ、高齢者の生きがい活動につなげられると良い。

【現行の緑の基本計画の評価(事務局の案)について】

- ・学校のビオトープは、地域や学校によって取組み等に差があると感じている。
- ・事業者の緑化の取組みは、企業によっては十分貢献している。緑の取組みに協力的な企業が、市内には多いことをもっと評価した方がよい。

【市民意見の反映について】

- ・緑の基本計画に関するワークショップ、オープンハウス、パブリックコメントは、

形式的に行うのではなく多くの方に関心を持ってもらえるよう広報を工夫し、スケジュールにも留意したものとしてはどうか。

【資料の構成について】

- ・ 現行計画の施策ごとの評価を整理しているため、現行計画から足りない点や継承する点を考える視点を入れるとわかりやすくなるのではないかと。

【現行計画との関連性について】

- ・ 武蔵野市がこれまで緑に取り組んできた時間的な長さ、層の厚さについて敬意を表したい。企業の方、市民の方が力を合わせて緑を守り、育む事に努力してきた事を痛感した。今回の改正は現行計画（「緑の基本計画 2008」）の中間地点であり、現行計画の基本方針と施策が計画の軸となる部分である。何か変える必要があれば変えていくという進め方はどうか。これまでの緑の活動に敬意を表す意味でもわかりやすくなる。